

評価結果から 一分析と目標一

A=よく当てはまる B=やや当てはまる C=あまり当てはまらない D=まったく当てはまらない

A+B=当てはまる C+D=当てはまらない

①学校運営・特色づくり

生徒	1	宣真高校には、他の学校にはない特色がある。	A+B	77%
教職員	3	休みがちな生徒や、ノートやプリント類を提出しない生徒には根気強く指導している。	A+B	97%
	7	コース独自の授業やガイダンス等を、コースの目的に沿うものかどうか毎年見直して改善を図っている。	A+B	91%
	9	生徒が、各コースに設定された授業・行事に満足しているかどうかを調べて、反映させるよう努力している。	A+B	72%
評価結果と分析				
I 分析				
<p>生徒の肯定的評価A+Bは前年度の71%から上昇している。在校生にも本校の公式ラインニュースを通じて、さまざまな取り組み・実践報告を伝えているのが、自校を客観的・俯瞰的に知るきっかけとなり、緩やかに功を奏していると解釈できる。配布プリントを読まない生徒でもラインは毎日チェックする高校生の習慣に便乗するのも策である。教職員の設問9の肯定的評価は前年度68%から72%と、わずかながらではあるが満足度に応じた催しに寄せていく姿勢とみる。</p>				
II 重点目標				
<p>授業の遅れに対する面倒見のよいフォローについては、システムも確立し、教員らにもその精神風土ができている。しかし設問の7と9の落差を見逃いことはできない。コース別のカリキュラム、コース別の行事、コースごとの進路般にわたって、企画研究・実施には意欲満々たるエネルギーを注いでいるものの、その後の、出来具合を検証したり課題点を洗い出したり、予想と反した展開になってらどう変えるか、というPDCAサイクルの後半2手順の自覚のバランスが悪い。やりっぱなしではマンネリ授業に陥る危険がある。教授法や企画に対する生徒アンケートなどを活用して、本当によくできた授業の完成を目指したい。</p>				

②教育相談

保護者	2	宣真高校は、教育理念・方針をわかりやすく伝えている。	A+B	85%
保護者	3	宣真高校は、家庭への連絡や意志疎通をしっかりとおこなっている。	A+B	84%
評価結果と分析				
I 分析				
<p>近年天候不良による、急な休校や行事延期、臨時下校などが頻発しているが、事前にはプリントで、直前にはフェアキャストや配信等を使って、家庭に間違いなく重要な連絡を届けるよう努めている。むろん校内の取り組みや行事その他の情報はホームページで更新を重ねている。その発信力に一定の評価が出たものと思われる。</p>				
II 重点目標				
<p>生徒のさまざまな学校生活での事象について、家庭連絡で伝える際の正確さ、整然さ、主観と客観の区別等について、教職員側が心して話さないと予想外の齟齬や誤解につながる例がある。慢心せず常に誠実な姿勢で家庭と向き合い、生徒の現況、将来について、過不足なく適切に情報を送るよう心がけないといけない。</p>				

③学校生活

生徒	2	生徒同士や、先生と生徒の仲はよいほうである。	A+B	74%
	3	悩みごとの相談について、先生の相談しやすい雰囲気がある。	A+B	54%
	4	先生は、生徒のプライバシーを守ってくれる。	A+B	69%
保護者	4	宣真高校では、子どものプライバシーはよく守られている。	A+B	92%
	5	子どもは、心身の悩みについて気軽に先生に相談できる。	A+B	69%

評価結果と分析

I 分析

生徒設問3、保護者設問5の結果は前年度より10%近く改善されている。(前年度生徒No.3-45%、保護者No.5-60%)前年度の反省を生かし、生徒の悩みに積極的に教員がかかわる体制作りがなされ始めていると考えられる。しかし、この数値は同時に、生徒本人にとって「学校以外で相談できる相手がいない」という可能性も考えられる。

生徒設問2、4及び保護者設問4の結果から、過半数の生徒が良好で安定した友人関係を構築し、教員とも良い間柄を保っており、生徒のプライバシーに関することが守られていると感じている様子である。また、学校での人間関係を保護者が適切に把握していることが見て取れる。

II 重点目標

大半の生徒が良好な人間関係を築いているとはいえ、100%には程遠い状況である。人権教育を中心とし、生徒同士、生徒教員間の関係を良好なものとするため、教員の側に生徒のサインを見逃さず声をかける必要がある。特に、相談しやすい雰囲気や環境を作るためにも、懇談のみならず平日頃より生徒の意見に耳を傾け、一層の生徒理解に努める必要がある。SNSの発達も含めた昨今の社会において、顔を突き合わせたコミュニケーションやカウンセリングの力は重要なものとなると考えられる。今後も引き続き、生徒の心の発達に合わせ、より良い学校生活を送ることができるよう努力する必要がある。

④学力指導

教職員	4	特に理解の進んでいる生徒にも不満がないような授業展開を講じている。	A+B	79%
	6	チャイムと同時に入室、生徒の授業態勢の確立、授業中の適切な注意指導等に意を砕いている。	A+B	91%

評価結果と分析

I 分析

設問4について一つのクラス内に、理解の進んでいる生徒とそうでない生徒が混在していることを痛感している教員たちは、ともしれば遅れがちな生徒に合わせて授業を行いがちである。しかしそれでは展開が遅くなり、理解できている生徒の不満が内にこもることになる。懇談時に表出する問題点であり、教員もそのことを自覚していることがうかがえる数値である。

II 重点目標

設問4は昨年度より若干上昇しており、習熟度の高い生徒を意識して授業を行う、バランスの工夫を欠かさぬように努める。設問8については、昨年度より大幅に上昇しているが、授業体制のしっかりしたスタイルの確立は当然のことなので、今後とも高い意識を崩さないように心掛ける。

④学習状況

生徒	5	コースやエリア独自の授業や行事は、自分の興味・進路に役立つと思う。	A+B	81%
	6	各科目の先生の授業は、それぞれよく理解できる。	A+B	57%
	7	わかりにくいところを質問したときや、欠点をとってしまったときなど、先生は丁寧に教えてくれる。	A+B	71%
保護者	6	授業は積極的に取り組めて楽しいようである。	A+B	77%
	7	成績不振の生徒への学習指導がよく行われている。	A+B	75%
	8	コースやエリア独自に設定されている授業や行事は有意義である。	A+B	88%

評価結果と分析

I 分析

「コースやエリア独自に設定されている授業や行事」に対しての生徒、保護者からの理解、評価が昨年度に比べて上昇した。生徒で8ポイント、保護者で1ポイント増となった。一昨年から昨年にかけて生徒で10ポイント、保護者で7ポイント減と大幅に下がってしまったが、今年度は改善傾向が見られた。「授業は積極的に取り組めて楽しいようである。」に対する保護者の評価が昨年度に比べて、7ポイント上昇しているのは、とても喜ばしい状況である。各ご家庭において学校の授業が話題に上っていることがよく分かった。生徒たちが学校を楽しんでいると感じてくれていることがなによりである。「各科目の先生の授業は、それぞれよく理解できる。」という問いについては、一昨年度から下降傾向にあったが、今年度は5ポイント上昇し改善傾向が見られた。

II 重点目標

授業がよく分からないという危機的状況を脱するには、今年度も引き続き、学校全体レベルでの学び直しの必要性を痛感する。個々の教科や授業での学び直しでは不十分であり、3年間を通したカリキュラムの作成が望まれる。全校レベルでの学び直しを実施するには、タブレット等の導入が必要不可欠である。ICTを利用した生徒一人ひとりの個別メニューによって学び直しに取り組ませたい。個人の理解度に応じて学習を進められる学び直し教育の実践には、ICT環境の整備が喫緊の要務である。

⑤不登校生対応

教職員	15	カウンセリング室生は、各種の学校行事・コース行事にどんな形であれ参加できるようになっている。	A+B	90%
	16	カウンセリング室生にとって、過ごしやすく、かつクラス復帰をうながす環境設定がととのっている。	A+B	90%
	17	カウンセリング室生の進路保障についても、十分に手を尽くしている。	A+B	90%
	18	カウンセリング室担当者と、担任・教科担当との連絡は密に行われている。	A+B	87%

評価結果と分析

I 分析

カウンセリング室担当者の不断努力により、カウンセリング室生が各種の学校行事・コース行事にますます参加できるようになってきている。メールによる連絡を始め、登校時の声掛けによりカウンセリング室生の参加に対する抵抗感を低減している。又、カウンセリング室生の進路保障については、高校生の減少という現状も相俟って、進学については合格を手にするケースが増えてきている。カウンセリング室担当者と担任・教科担当との連絡についても、カウンセリング室担当者の積極的な働きかけにより密に行われている。各種の考査、提出物等のやり取りもスムーズに行えている。クラス復帰を促す環境設定については、昨年度に比べて18ポイント増と大幅に上昇した。学年・担任による不徹底が減少してきた結果であると考えられる。

II 重点目標

今年度も進級・卒業のための出席日数の確保が問題になっている。長期休業中に登校をさせたりするも、それだけでは不十分なケースが増えてきているため、対策が必要不可欠である。ICTを活用した家庭学習の実践とその学習時間の扱いについても今後検討していきたい。長欠の続く生徒や低学力の生徒に対する支援の在り方についても議論を進めていく必要がある。カウンセリング室にも登校できない生徒に対して進級・卒業を保障していく制度の構築が急務である。

⑥進路指導

生徒	8	進路について、一人一人に適した丁寧な指導がされている。	A+B	71%
	9	進路について、説明会や見学・研修がよく設定されている。	A+B	77%
保護者	9	進路指導について、希望進路に関する最新の教育情報をよく伝えている。	A+B	76%
	10	進路指導について、ガイダンスや動機づけの機会がよく設定されている。	A+B	78%
教職員	11	進路についての面談や相談が十分におこなわれている。	A+B	73%
	10	生徒一人一人の希望・適性をすくい取るように、こまやかな進路調査をおこなっている。	A+B	90%
	11	生徒が必要としている進路情報について、積極的に複数回、提供している。	A+B	87%
	12	学年・コースで進路指導について、しっかりした年間計画が立てられている。	A+B	94%
	13	進学・就職に対して、生徒に各自の将来のビジョンが描けるようにガイダンスを工夫している。	A+B	87%
	14	進路について意欲に欠ける生徒に対して、根気強く働きかけている。	A+B	90%

評価結果と分析

I 分析

本校ではコース制度・キャリア教育を取り入れ、第1学年より職業・進路を意識させた授業展開や行事の取り組みがなされているため、生徒・保護者・教員の三者が進路指導に関して高い評価を得ているのであると考えられる。しかし、教職員の認識と、生徒・保護者との認識にズレがあるのには、コース行事や進路の取り組みに関して、事前事後の指導が不徹底であるためではないだろうか。何のために進路指導ガイダンスや、進路相談会が実施されているのか。その行事において何を考えるべきかまでを事前指導し、事後にはその考えをフィードバックするところまでを含めて進路指導であることを教職員は理解すべきである。

II 重点目標

第1学年は、自分の適性を知ることや学問分野を知ることなど、自分の将来にまつわる知識を増やす時期である。続く第2学年では、学部学科研究など具体的に大学や短大、専門学校情報を収集し、分析する時期であると考えられる。高校生活の締めくくりとなる第3学年では、受験対策として志望理由対策・小論文対策などを中心に、受験に向けたスキルを向上させる時期であろう。新テスト導入や入試制度改革に向けては、第1学年から大学学部学科研究をしていかなければならないと思われるが、まずは現状行っている進学相談会や進路ガイダンスの事前事後指導を、クラス担任・進路指導部・生徒・保護者が連携を取り実施することが重点目標とする。

⑦生活指導

生徒	10	先生は授業中の私語や居眠りを厳しく注意している	A+B	60%
	11	生徒指導の方針についてはよく理解できる	A+B	60%
保護者	13	宣真高校の遅刻・携帯電話・頭髪などの生活指導面の方針に共感できる	A+B	79%
教職員	19	すべての教育活動を通じて、社会規範や公共心・道徳心を大切にする意識が育まれている	A+B	94%
	20	情報モラル教育について、よく生徒に正しく適切な指導が行われている	A+B	91%
	21	いじめの早期発見について、生徒の変化や動向を特に意識している	A+B	97%
	23	薬物乱用、交通安全について健康と安全の観点から強く指導している	A+B	84%

評価結果と分析

I 分析

今回のアンケート調査結果の大きな特徴は、生活指導における全ての項目において、昨年度よりも評価は上がった。

生徒への「生活指導の方針についてはよく理解できる」については約10%増加し、生活指導を行う上で、対話を重視してきた点がこのような結果につながったのではないかと考える。

保護者への「宣真高校の遅刻・携帯電話・頭髪などの生活指導面の方針に共感できる」については昨年度も高評価を得ているが、遅刻指導や携帯電話指導などにおいて、比較的丁寧にかつ細やかに指導している点を評価していただいているのだと感じた。

教職員に対するアンケートではすべての項目においてポイントの増加がみられたが、特に大幅なポイント増加がみられたのは「いじめの早期発見について、生徒の変化や動向を特に意識している」の項目である。これについては、年度当初から学校全体、学年、各クラス単位において『いじめ』というものがいかなるものであるか、また、それに対して、学校は決して許さないといった姿勢を繰り返し意思表示していることが、教職員のこのような意識につながっているのだと考える。

II 重点目標

今回のアンケート調査結果の大きな特徴は、生活指導における全ての項目において、昨年度よりも評価は上がった。

生徒への「生活指導の方針についてはよく理解できる」については約10%増加し、生活指導を行う上で、対話を重視してきた点がこのような結果につながったのではないかと考える。

保護者への「宣真高校の遅刻・携帯電話・頭髪などの生活指導面の方針に共感できる」については昨年度も高評価を得ているが、遅刻指導や携帯電話指導などにおいて、比較的丁寧にかつ細やかに指導している点を評価していただいているのだと感じた。

⑧心と人権

生徒	13 人権の大切さを学んだり、考えたりする機会がある。	A+B	64%
		D	9%
	14 先生たちは、生徒の人権を十分尊重している。	A+B	65%
		D	11%
保護者	14 宣真高校は、生徒の人権やいのちを大切にす心や、社会ルールを守る態度を育てようとしている。	A+B	86%
		D	2%
教職員	22 人権尊重についての課題や指導方法についてよく話し合われている。	A+B	75%
		D	3%

評価結果と分析

I 分析

本校では、各学年の人権担当教員が、年度当初に計画した重点目標に従い、生徒が理解しやすいように、生徒たちにとって身近な事柄を中心に、人権ホームルームを実施している。【生徒 設問13】の「A+B」の値は前年度に比べて、7ポイント上昇しており、Dの値は3ポイント下降している。また、【生徒 設問14】でも「A+B」の値は前年度に比べて、9ポイント上昇しており、Dの値は3ポイント下降している。現状では生徒の評価は決して高いとは言えないものの、前年度に比べるとわずかながらの上昇が見られる。

一方、【保護者 設問14】では86%の高い評価をいただっており、【教職員 設問22】でも75%の評価がある。つまり、教職員は人権教育の重要性について一定の努力をしており、保護者にはそれが認知されているが、生徒たちにはそれが伝わっていないという歯痒い現状を垣間見ることができる。そのため、人権ホームルームの機会を増やし、生徒たちにより一層、人権の大切さが伝わるように取り組む必要がある。

II 重点目標

生徒の人権意識を高めるために、各学期の人権ホームルームの内容を充実させていくと共にその機会を増やしていく。在学している生徒の実態に即した、理解しやすい内容のホームルーム計画を立てて実施する。また、ホームルームの展開についても従来のDVD等を視聴してその感想を書くといった受動的なものから、その状況に居合わせた時にどのように感じたり、行動するかについて考えさせるアクティブラーニングの方法を採り入れていく。そして、人とのつながりの大切さ、相互の違いを認め合いながら尊重する意識を高めていきたい。同時に、教職員は内外の研修会に参加し、自らの人権意識を高めることによって、より有意義な人権教育が行われるように志向する。

⑨特別活動

生徒	15 クラブ活動は活発である。	A+B	83%
保護者	15 文化祭・体育祭などの学校行事に、子どもは積極的に参加している。	A+B	91%

評価結果と分析

I 分析

クラブ活動の活発さについては前年度と同じく、83%という高い評価をいただいている。クラブに入部していない生徒がクラブ活動の情報を知る機会は限定されてくるので、おそらく表彰状の伝達式や全国大会の壮行会・報告会が盛んに行われていることが評価を高めているものと考えられる。

また、学校行事に関する積極性についても90%以上の高い評価をいただいている。生徒たちは学校行事や部活動に対し、概ね積極的に参加していることがうかがえる。

そして、これらの高い評価を受けている背景には、学校のホームページ等を通じてクラブ活動や学校行事の様子が頻繁にアップされていることも無視できない。

II 重点目標

部活動をよりアピールするために、外部の大会に積極的に参加していくように志向する。また、ホームページなどの媒体や学校行事を通じて、クラブ活動に懸命に励んでいる生徒を顕彰していきたい。学校行事に関しては、創立100周年に向けて校内の環境が大きく変化していくことも踏まえて、現在の行事の充実度を増していくという方向性で進めていきたい。

⑩学校設備

保護者 12 学校の施設・備品は十分満足できるものである。

A+B

71%

評価結果と分析

I 分析

現在トイレの改修を終え、新館の施設(本校初のエレベーター設置など)についての情報や、次の改修ステップについても逐次生徒やホームページを通して発表しており、それらを見聞きされた保護者の期待を込めての数値と推測する。

II 重点目標

本館の耐震化工事に伴い、現状における教室その他の使い勝手についての不満・改良点を、どれだけ吸い上げて改修計画に反映させられるかを、優先順位を決めて討議している最中である。言うまでもなく、生徒の安全重視の観点を第一とする。